



福生二中だより

No.9

令和8年1月8日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

毛を見て馬を相す

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



さて、新年を迎え、保護者の皆様におかれましては、お子様に「今年は、〇〇しよう」といった一年の抱負についてなどお話ししていただいていることと思います。お子様は、昨年一年間で確実に成長しています。まず、どんなところが成長したのかをよく見ていただきたいと思います。例えば、「〇〇するようになった」、「〇〇ができるようになった」、「〇〇してくれる」など、どんなささいなことでも構いません。そして、成長していることを褒め、それを踏まえて、「今年は、〇〇しよう」といった目標をもたせていただけると幸いです。

また、3年生は人生の岐路とも言える高校受験が待ち構えています。保護者の皆様におかれましては全力でサポートしていただいていることと思います。お子さんが受験する学校の受験日程を確認することや日々の生活リズムのチェックなど、様々なサポートをしていただきありがとうございます。試験日が近付くと緊張から表情も硬くなってくることもありますので、目と目を合わせた対話も大切です。我々、教員も全力でサポートしてまいりますのでお困りのことがございましたら遠慮なく御相談ください。

挨拶運動

12月16日、生徒会の1年生から3年生の7名が、歳末助け合い運動の募金活動を行ってくれました。寒い中でしたが、「歳末助け愛運動に御協力ください!」と大きな呼びかけで、多くの方が募金をしてくださいました。生徒達も達成感と充実感を味わうことができました。この様子は、福生市社会福祉協議会の広報誌にも掲載されます。生徒会の皆さん本当にありがとうございました。



各学年の取組 ～魅力ある学校づくりに向けて～

第1学年

「一人一人が考えて適切な行動を取り続ける」を2学期の最初に生徒に伝え、12月25日にその振り返りを行いました。生徒の多くは、できなかったと答える人が多くいましたが、私としては、多くの人を考えながら行動することができた2学期だったと思っています。その理由の一つとして、校外学習の成功が挙げられます。そして、当日の成果を12月の日常生活につなげることもできていました。

今学期最後の学年集会では、学年委員からの振り返りと、校外学習事後学習の発表を行いました。事後学習の発表では、原稿を見ずに発表したり、当日の感想を入れながら聞き手に伝えたりすることができていました。

多くの仲間が協力して、正しい方向へ導く声を掛け合い生活することができ、落ち着いた学校生活が続きました。中には、先生に指摘されることもありましたが、柔軟に改善できることも一年生の良さです。これも保護者の皆様が、御家庭でお子様に寄り添っていただいたからだと思います。3学期もよろしくお願いいたします。



第2学年

2学年では、1月14日(水)から16日(金)にスキー移動教室があります。現在、各クラスの実行委員が中心となって部屋決め、バス座席決め、決まりの検討、係会、しおりの製作・読み合わせ等を行っています。実行委員が考えたスローガンは「挑戦と協力!思い出に残るスキー教室に!」です。スキー技術の習得や豊かな自然とのふれあいを通して、集団生活における基本的なマナーや互いに協力する態度を身に付けるとともに、思い出に残る行事となるように全員で協力し、成功させてくれることを期待しています。



第3学年

進路が差し迫った3年生ですが、最近、授業に向かう姿勢に元気がない様子でした。そこで学年委員会から、「挙手&発言しようキャンペーン」を提案しました。「ちょっと手を挙げてみよう」「一言言ってみよう」など、一人一人の小さな行動から、明るく積極的に授業に参加する雰囲気をつくることを目標にしました。1週間限定の取組でしたが、学年全体で961回もの挙手と発言がありました。「ふだん手を挙げない人に声を掛けることができた」「班対抗だったので盛り上がった」「挙手する人が増えた」など、たくさんの成果が見られました。これからも、生徒一人一人の力を合わせて進路実現に向かっていきます。3年間最後の3学期もよろしくお願いいたします。

